

---

## 大 嶽 浩 教授

### 学 歴 :

- 1970年3月 愛知学院大学法学部卒業
- 1972年3月 愛知学院大学大学院法学研究科私法学専攻修士課程修了 (法学修士)
- 1975年3月 愛知学院大学大学院法学研究科私法学専攻博士課程単位取得満期退学

### 職 歴 :

- 1975年4月 同朋高等学校兼任講師 (社会担当) (1977年3月まで)
- 1976年8月 愛知高等学校兼任講師 (社会担当) (1978年3月まで)
- 1977年4月 愛知淑徳短期大学兼任講師 (一般法学担当) (1978年3月まで)
- 1978年4月 愛知淑徳短期大学一般教養専任講師 (一般法学担当) (1983年3月まで)
- 1983年4月 愛知淑徳短期大学一般教養助教授 (法学担当) (1993年3月まで)
- 1986年4月 愛知淑徳大学兼任講師 (法学担当) (1988年3月まで)
- 1993年4月 愛知淑徳短期大学教養教育群助教授 (法と社会担当) (1996年3月まで)
- 1996年4月 愛知淑徳短期大学教養教育群教授 (法と社会担当) (1998年3月まで)
- 1997年4月 愛知淑徳大学文学部兼任講師 (日本国憲法担当) (2002年3月まで)
- 1998年4月 愛知淑徳短期大学生活科学科教授 (法と社会担当) (2000年3月まで)
- 2000年4月 愛知淑徳大学現代社会学部現代社会学科教授 (日本国憲法、入門法律学、法学概論、ケーススタディⅤ(法・裁判制度研究)担当) (2010年3月まで)
- 2010年4月 愛知淑徳大学交流文化学部交流文化学科教授 (地域理解 1(くらしと法律)、日本国憲法、民法、交流文化演習担当) (現在に至る)

### 学会および社会活動 :

- ・ 日米法学会
- ・ 信託法学会

### 受 賞 :

特になし

業 績：

I. 主な著書：

1. 『商学と法学』（三井堂、共著、1976）
2. 『法学論集』（丸善出版センター、共著、1991）
3. 『法と人権』（西村印刷、単著、1995）
4. 『法と文学（総論）』（西村印刷、単著、1996）
5. 『21世紀における社会保障とその周辺領域』（『21世紀における社会保障とその周辺領域』編集委員会、2003）

他多数著

II. 主な論文等：

1. 「占有権の相続」（愛知学院大学大学院法学研究科法研会論叢 4 卷 1 号、1974）
2. 「民法第 604 条のいわゆる「存続期間」について」（愛知学院大学大学院法学研究科法研会論叢 5 卷 1・2 号、1975）
3. 「イギリス賃貸借法における「期間満了、拡大、拒絶」について」（愛知淑徳短期大学研究紀要第 18 号、1979）
4. 「法と言語」（愛知淑徳短期大学研究紀要第 20 号、1981）
5. 「公営住宅の「割増家賃」と法意識」（愛知淑徳短期大学研究紀要第 22 号、1983）
6. 「法と間（2）」（愛知淑徳短期大学研究紀要第 30 号、1991）
7. 「法と甘え（上）」（愛知淑徳短期大学研究紀要第 34 号、1995）
8. 「法と文学：文学の利用（2）」（愛知淑徳大学論集—現代社会学部・現代社会研究科篇—第 12 号、2007）
9. 「法と事実：文学の利用」（愛知淑徳大学論集—現代社会学部・現代社会研究科篇—第 15 号、2010）
10. 「法と文学：文学作品を利用した「法的教養」」（愛知淑徳大学論集—交流文化学部篇—第 3 号、2013）
11. 「法と文学：文学作品を介した法的想像（上）」（愛知淑徳大学論集—交流文化学部篇—第 6 号、2016）
12. 「法と文学：文学作品を介した法的想像（下）」（愛知淑徳大学論集—交流文化学部篇—第 7 号、2017）

他多数著